

○令和8年9月1日 デジタル田園都市推進特別委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の特別委員会では、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

デジタル田園都市推進特別委員会では、今年度のテーマを「デジタル社会形成に向けた取組みについて」及び「中小企業におけるデジタル化の推進について」と定めており、今回4カ所の現地視察を行いました。

まず、かがわDX Lab（高松市サンポート）を訪問し、同施設の取組によるサービス創出の例として、ソフトバンク株式会社から地域共助型見守りサービスの説明等を受け、質疑を行いました。また、Setouchi-i-Baseの講座受講を契機として起業し、現在はコーディネーターとして相談対応・伴走支援を行うUMEWORKS合同会社から起業の実体験等について説明を受け、質疑を行いました。

ソフトバンク



UMEWORKS



次に、葵機工株式会社（高松市朝日町）を訪問し、自社開発IoTによる工場のネットワーク化と遠隔制御、AI技術を活用した画像検査システム等の先進的なものづくり及び独自の予測管理技術による24時間稼働体制の確立等について説明を受け、質疑を行うと共に、製造現場の視察を行いました。



最後に、NTTドコモビジネス株式会社四国支社（高松市天神前）を訪問し、次世代情報通信基盤構想の説明を受け、その実装事例の映像を視聴すると共に、観光等の地域課題を先端技術を活用して解決する事例等について説明を受け、質疑を行いました。

